

11月14日は世界糖尿病デー



world diabetes day
14 November

世界糖尿病デーは、世界中で糖尿病の予防や治療の重要性を知ってもらうために、国際糖尿病連合と世界保健機関が定めた日です。血糖値のこと、糖尿病のことを知り発症や重症化を予防しましょう！

糖尿病はどんな病気？

糖尿病は、血液中を流れるブドウ糖という糖(血糖)が高い状態が続く病気です。日本人に圧倒的に多い「2型糖尿病」は、血糖値を下げる唯一のホルモン「インスリン」の作用不足に、過食や運動不足・肥満・ストレス・加齢が加わり発症します。血糖値が高い状態が続くと、全身の血管が傷つき、なかでも「眼・腎臓・神経」といった細い血管が影響を受けやすいと言われています。

食事の内容や運動不足の解消など、生活習慣を見直すことで予防・改善が期待できます。



問い合わせ いきいき健康課 ☎24・8056

血糖値のことを 相談したい人へ



血管と臓器を守るため、具体的な取り組みを一緒に考えましょう。健診結果の見方、運動や食生活のことなどの生活習慣に関する相談を行います(予約制)。

とき 月・水・金曜日(祝日除く)
いずれも13時15分から

ところ・申込先
いきいき健康課 ☎24・8056



ブルーライトアップ

11月14日(火)に糖尿病啓発のシンボルカラーである青色にライトアップします。

- 小松市医師会館(京町)
- 公立小松大学中央キャンパス
- 小松市民病院 など

大賞

住宅型有料老人ホーム NOA(八幡)



花を引き立てるように青々とした芝生とシバザクラが広がり、ガーデン全体を囲う樹々が落ち着きを醸しています。入居者のためのガーデンから進化して、誰をも受け入れてくれるような寛容さも感じます。生ごみコンポストを利用するなど環境に配慮した取り組みもされ、花の癒やしと居心地よい空間は高齢者福祉施設の見本となる素晴らしい活動です。

金賞



【団体の部】西軽海町一丁目町内会



【個人の部】石原 丈太郎(村松町)

過去に大賞を2度受賞した花壇は「殿堂入り」となり、以降のコンクールに参加することができません。殿堂入り花壇は「エイキKKツバキの会(木場町)」と「下粟津町花の会」です。

2023夏 花のコンクール大賞

誰もが鑑賞できる花壇やプランターなどの花装飾を対象にしたコンクールです。真夏の日差しの下で元気な花を咲かせた受賞作品を紹介します。

問い合わせ

こまつ花のまちづくり
推進本部事務局(緑花公園課内)
☎24・8102



そのほかの
受賞作品はこちら